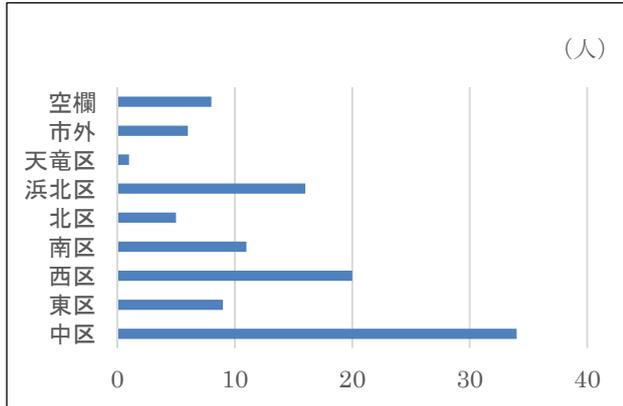


# 2023 年度 記念講演会「地球を壊さないための4つの R」

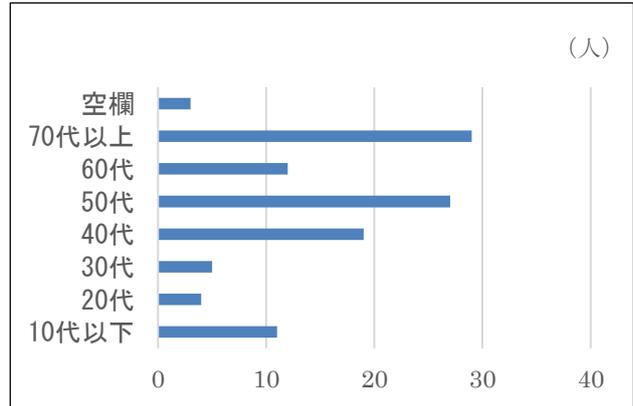
## 参加者アンケート 集計結果

開催日時:2023 年 11 月 19 日(日)13:00~15:30  
開催会場:浜松市西部清掃工場 えこはま 2F 会議室  
来館者数:122 名  
アンケート回答者数:110 名 ※記念品配布数 101 個  
紙容器リサイクル回収量:7.0 kg ※再洗浄 93 個

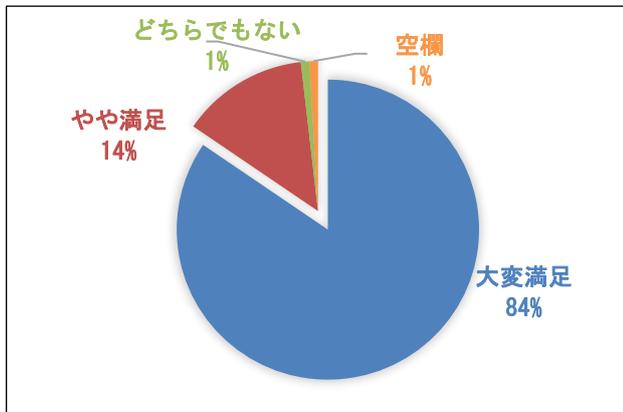
### 参加者 住居区



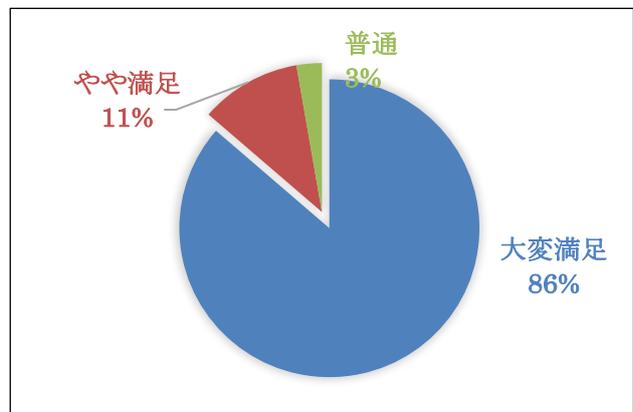
### 参加者 年代



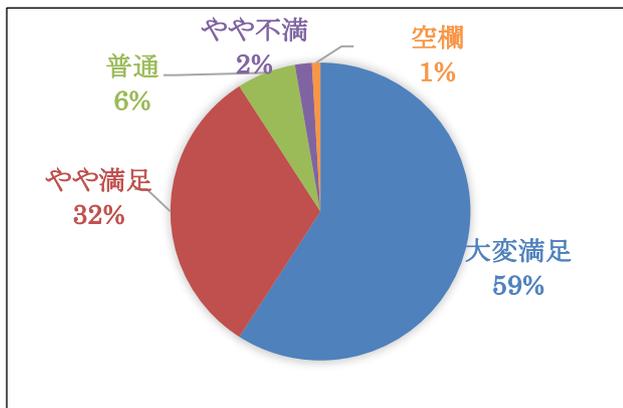
### Q1:今回の講演は、満足いただけましたか？



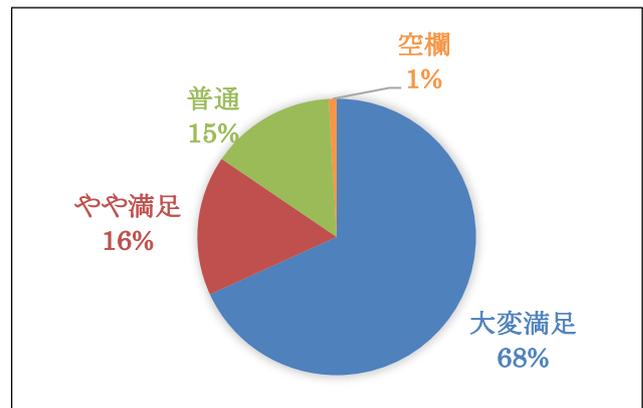
### Q2-① 講演会の内容



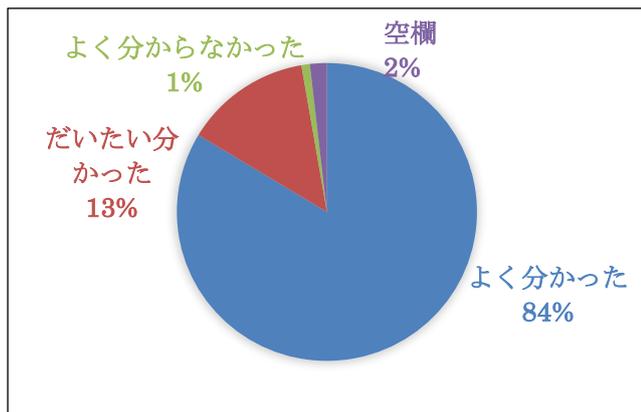
### Q2-② 時間配分



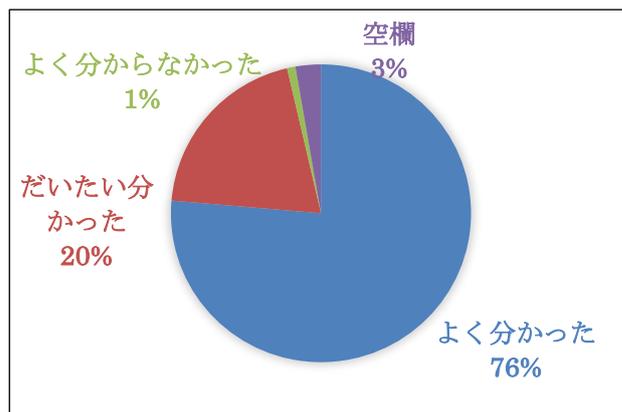
### Q2-③ スタッフの対応



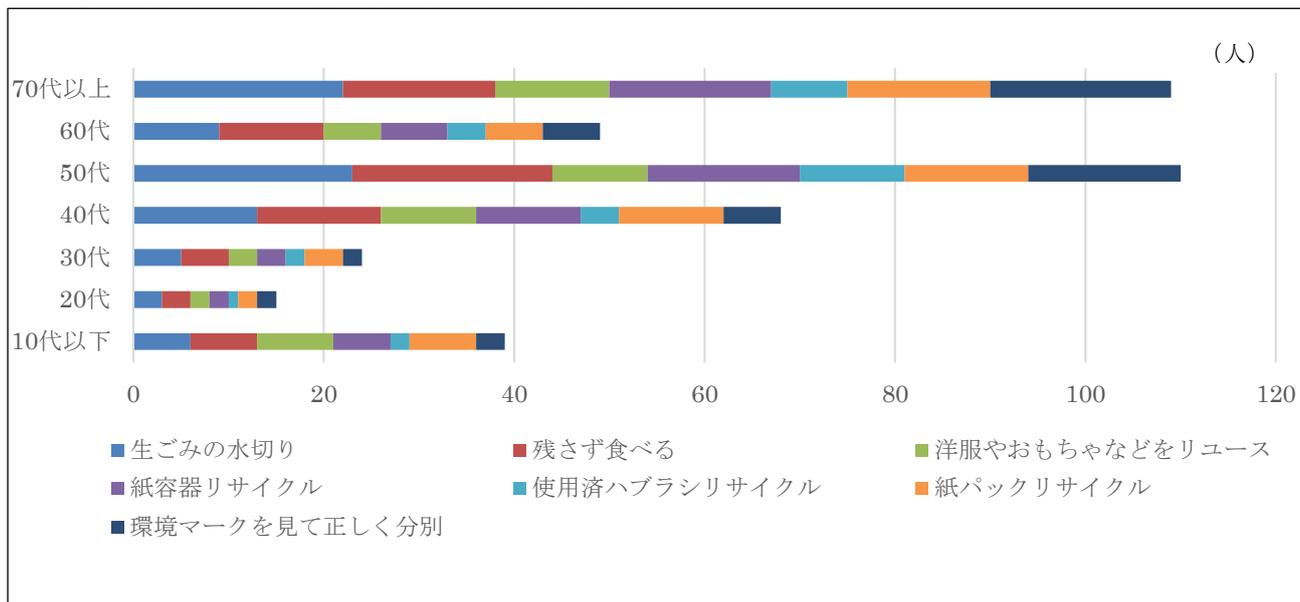
Q3-① 「ごみ減量」を学ぶことが出来ましたか？



Q3-② 3Rの取り組みについて分かりましたか？



Q3-③ 「家庭ごみ」減量に向けて実践する行動は何ですか？



※実践行動は、「生ごみの水切り」「残さず食べる」「紙容器リサイクル」の順となったが各行動とも回答者の半分以上が実践する行動としている。(使用済ハブラシリサイクル事業への回答は、30%程度であった。)  
50代・70代については、全ての実践行動を行うとの回答を得た。

※その他ご意見

10代	買い物に行く際、消費しきれない物は買わないようにする。
40代	ごみ拾い。
	プラ容器リサイクル、古紙回収。
50代	必要以上買わない、循環するもので暮らす。
	コンポスト。 ごみの量が減らせるように生活を見直し続けます。
60代	プラ容器が巷に溢れています。瓶や缶など地球に幾分優しい商品を購入したいと思います。
70代	プラスチック容器は必ず洗って出す。
	食品は必要以上に購入しない。
	一回一回必要以上の量を買わない。

参加者の感想(原文掲載)

10代	ごみには人間の心が滲み出ていることや4Rについても学べて、とても良かったです。
30代	リサイクルに努めていましたが、今後は食品ロスに力を入れていきたいと思いました。
40代	「家庭ごみの減量」について短時間なので具体的なところがよく分からなかったので、今後一つずつ検索します。基本的な考え方と4つめのRについて、とてもよく理解しました。
	ごみ収集(ごみの出ている状況)が聞けて、自分のごみの出し方の振り返りができて良かったです。
50代	ごみ問題に対し、関心の高い参加者が多いと感じた。楽しみながら、ごみについて学ぶことの大切さを改めて認識した。15周年おめでとうございます。引き続きの安全な運営宜しくお祈りします。
	行動変容についての方法がよく分かった。
	実体験からの話は凄く心に沁みました。これから地球を守り支えていく子供たちにも聞かせて欲しいです。
	まずは「意識から！」早速明日、いや今日からやってみます。楽しい時間と学びをありがとうございました。
60代	ごみ清掃員の方々に支えられながらの生活に改めて感謝を感じた時間でした。ごみはその人自身を表す、という言葉が胸に響きました。ごみを減らしたり、捨てる時の意識を高めて、今日の内容を生活に生かしたいです。
	私もごみに品性が表れると感じます。道路沿い、河川、海のポイ捨て、ごみを回収していますが、今の時代物が多すぎて物を減らすために、まず産業界、経済界が転換をして欲しいと感じています。Respectという言葉に同感です。素晴らしいお話でした。ありがとうございました。
	自分のごみの出し方をもう一度見直して、正しく出すことを反省しました。
	ごみのことを深く考える機会になった。次はごみの分別の知識を増やしたいと思った。
70代	「顔が見える関係は大事」が、ごみ問題でも同様ということがよく分かった。
	何とかごみを減らさなければと思った。とりあえず買い過ぎないようにしたい。
	Respect、資源は大切にしていけることが必要。
	食品ロスの話はショックでした。題名の4Rの意味が分かりました。
	他人に伝えていくことが大切だと思いました。
	ごみから、その人の生活・その人自身の考え方が”人”が分かる、とのお話には驚きと納得。とても参考になりました。一人でも実行するって大変ですね。頑張っていこう。エコはまでのコンポストを説明して欲しかったかな。
普段考えてもみなかった収集する側からの考え、気持ちを分かりやすく話を聞くことができました。	

参加者からの要望 4件

・もう少しゆっくりお話して下さると嬉しかったです。(60代・70代)

今後の改善点 2件

50代	容器を持参することは、何か工作をするのだろうと思っていました。ヨーグルト・納豆などの食品を買って食べる習慣がないので、新品の紙コップを持って来ました。持参品の目的を予め知らせていただけたら良かった。
	後部からは非常に見えづらかったなので、椅子の並べ方を工夫してもらいたかったです。

※紙容器リサイクル事業については、今後も積極的な啓発活動を行います。  
会場の設置については、今後の開催で改善していきます。

(まとめ)

- ・募集定員以上の参加があった。(今回、web 受付を行った。Web 受付の欠席が 2 割となった。)
- ・若年層の参加者が少なかった。(ターゲットを若年層と考え学校等への参加呼びかけを行ったが参加につながらなかった。)
- ・講演会の開催については、参加者の 8 割以上から「大変満足」「やや満足」の評価を得た。
- ・参加費として紙容器の回収を行った。回収量 7.0 kg  
受付で対象外の商品を持参された方には、説明を行い持ち帰りをお願いしました。(対象外商品:カップ麺のカップ、納豆のカップ、お菓子のカップ(アルミ加工のもの)が 10~20 個程度。)  
参加受付と紙容器回収場所を変えることで、持参されない参加者の動線を確保しました。  
(共催団体の受付については、受付と受取を一緒に行いました。)
- ・講演終了後に、コンポストのやり方や「えこはま」リユース事業への問い合わせが数件あった。

## 浜松市西部清掃工場 開館15周年記念イベント

### 記念講演「地球を壊さないための4つのR」開催の様子

開催日時：2023年11月19日（日）13時30分～15時30分  
講師 お笑い芸人兼ごみ清掃員 お笑いコンビ「マシンガンズ」 滝沢秀一氏

主催者挨拶

受付 参加者122名

浜松市環境部挨拶

紙容器リサイクル事業説明と回収の様子 回収量 7.0kg

会場の様子